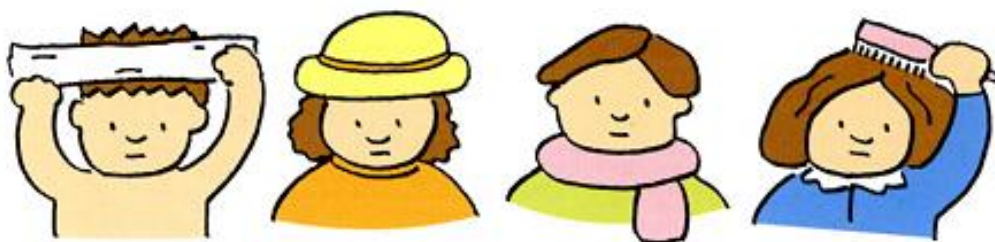


アタマジラミ対策対応マニュアル



平成30年6月

世田谷区世田谷保健所

目 次

I アタマジラミについて

1. アタマジラミの形態と生態・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 海外の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 日本の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 世田谷区の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
5. どのようにして感染するのでしょうか・・・・・・・・・・ 5

II 施設ですること

1. 職員が気をつけなければならないこと・・・・・・・・・・ 6
2. 発生時の対応と処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3. 保護者への対応について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 苦情への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

III アタマジラミの見つけ方、駆除方法

1. アタマジラミの見つけ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2. 駆除の前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
3. 駆除方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
4. 駆除完了の確認方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
5. 衣類、寝具類の処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

IV 予防方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

- ☆保護者向け通知 例文・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

I アタマジラミについて

保健所には「子どもの髪の毛に小さな白いフケ状のものがついている」「子どもが二人とも頭をかゆがっている」などのアタマジラミに関する相談が多く寄せられます。

アタマジラミは、主に幼児や小学校低学年の子どもの頭に寄生し吸血して、かゆみを引き起こします。寄生数が増えてくるとかゆくなってきますが、寄生の初期や数が少ないとあまりかゆがらないようです。季節を問わず被害が発生し、髪が触れ合う機会が多い集団での生活で広がる可能性があります。

人に寄生するシラミは、コロモジラミ・アタマジラミ・ケジラミがありますが、子どもの頭髮に寄生するのはアタマジラミだけです。

シラミというと、かつてのコロモジラミのイメージから不潔だと受け取られがちですが、現在の日本では不衛生なために発生していることは、ほとんどありません。また、アタマジラミは病気を媒介することはありません。清潔にしているにもかかわらずアタマジラミに感染しますし、保護者や施設管理者の知識不足のため、集団で感染してしまうこともあります。アタマジラミは清潔・不潔とは関係ないということを認識し、差別やいじめにつながらないように、正しい知識を持って子どもへの対応に配慮してください。

1. アタマジラミの形態と生態

■卵の特徴

- ・大きさは約0.5mm×0.3mmの楕円形
- ・色は少し透けた艶のある乳白色
- ・糊付けしたように髪にしっかりついていて、爪でしごかないと取れません。
- ・約7～10日で孵化し、幼虫になります。

■幼虫の特徴

- ・形態は成虫とほとんど同じですが、小さく1mm前後
- ・約8～16日の間に3回脱皮して成虫になります。
- ・成虫と同じく吸血します。

■成虫の特徴

- ・大きさは2～4mm
- ・体の色は褐色から灰白色、吸血後赤く見えますが次第に黒っぽくなってきます。
- ・寿命は約1ヶ月
- ・雌雄ともに頭皮から吸血します。
- ・卵を一生の間に約100個、1日約5～6個、頭髮の根元近くに産み付けます。
- ・光を嫌い、髪の毛の中に隠れています。
- ・人から離れると約7時間～3日間で死ぬといわれています。

2. 海外の状況

アタマジラミは世界的に見て、子どもへの寄生が多く、衛生状態が良いといわれている先進国においても、子どもへの寄生率が高いことが報告されています。

アメリカでは全米シラミ症協会が、インターネットを通じてアタマジラミの駆除法を積極的に広めています。

また、イギリスでは、アタマジラミの日を定め、幼稚園や小学校の先生が子どもたちにアタマジラミの説明を行い、親とともに頭髪を検査することを勧めています。アタマジラミ対策専門のボランティアもいます。

このように海外では、ごく普通に発生が認められていますので、海外でアタマジラミに感染することもあります。海外に出かけた場合は、アタマジラミに限らず感染症に注意し、知らずに持ち帰らないよう十分注意してください。

表 1 各都市での小学生等のアタマジラミ寄生率

国名 (地方・都市名)	調査施設	調査人数	寄生率	調査年 (発表年)
カナダ (オレゴン州)	小学校	568	10.4%	(1991)
米 国 (フロリダ州)	小学校	1,515	6.4%	(1989)
フランス (パリ)	小学校	8,353	3.4%	(1992)
イタリア (シシリア)	小学校	7,374	18.0%	(1983)
イギリス (ティスデール)	小学校	3,600	0.4～ 23.1%	1971
日 本 (岡山市)	保育園・幼稚園・小学校	40,392	1.5%	1992

頓宮(1994)のアンケート調査結果より

3. 日本の状況

日本は、表 1 にあるように先進国の中でも発生が少ない国です。戦後、アタマジラミ対策に盛んに使われた DDT が製造及び使用禁止になってから、しだいに発生数が増加し 1982 年にピークを迎えました。しかし、その年にアタマジラミ専用駆除剤が認可・使用され、その後発生数は激減しましたが、1990 年代に再び増加し始め現在に至っています。(図 1)

アタマジラミ症を年齢で見ると、発生(寄生)は幼稚園、保育園の年長組と小学校の低学年に多く見られます。図 2 のグラフを見ても明らかのように、発生のほとんどは 11 歳以下が占めています。子どもに発生が多い原因としては、体を寄せ合って遊ぶことが多いのほか、距離を取らず集団で昼寝したり、兄弟姉妹間でブラシを共用することなどが考えられます。さらに、幼稚園の年長ぐらいになると自分で髪を洗うようになりますが、大人のように十分に洗えず、洗髪が不十分なことが考えられます。

中学生になって、自分専用のクシやブラシを使い、洗髪やドライヤーなども丁寧におこなうようになると、発生が極端に少なくなります。

図1. 年度別アタマジラミ症発生状況, 1981~1997年度
(厚生省生活衛生局水道環境部環境整備課)

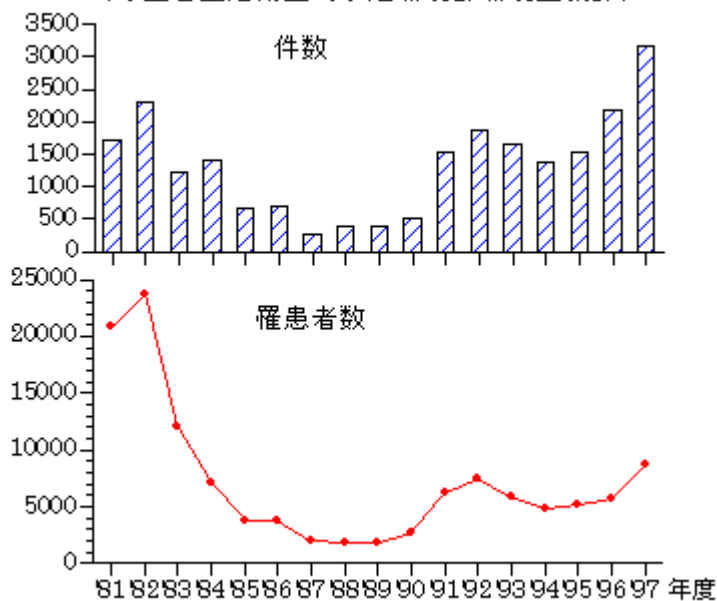
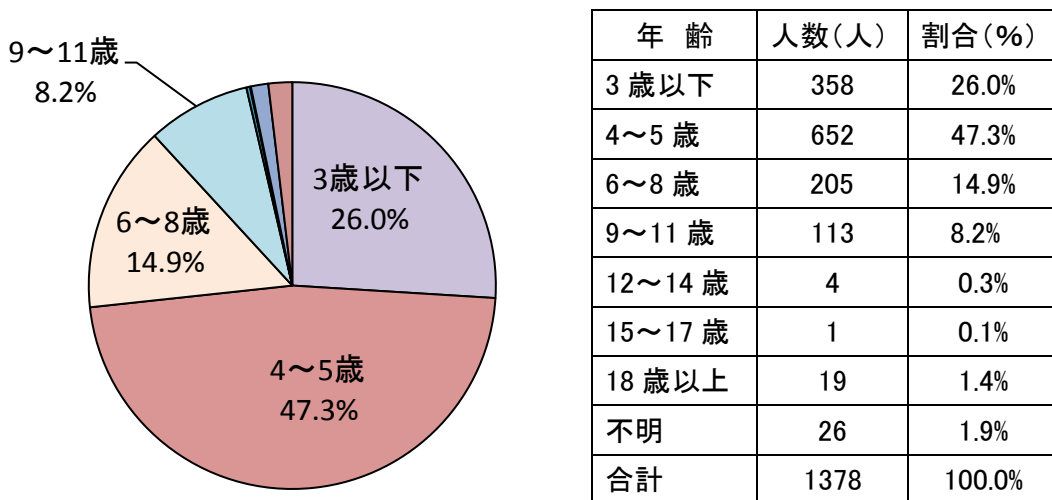


図2 東京都におけるアタマジラミ被害発生報告数・年齢別 (平成 28 年度)



4. 世田谷区の状況

保健所に寄せられるアタマジラミについて発生報告の件数の推移は図3のようになります。また、月別の発生報告件数の推移は図4のようになります。発生数全てを把握してはおりませんが、季節にかかわらず年間を通じて常に発生している状況が分かります。発生者の年齢は都と同様ほとんどが11歳以下です(図5)。

図3 世田谷区におけるアタマジラミ被害発生報告数推移

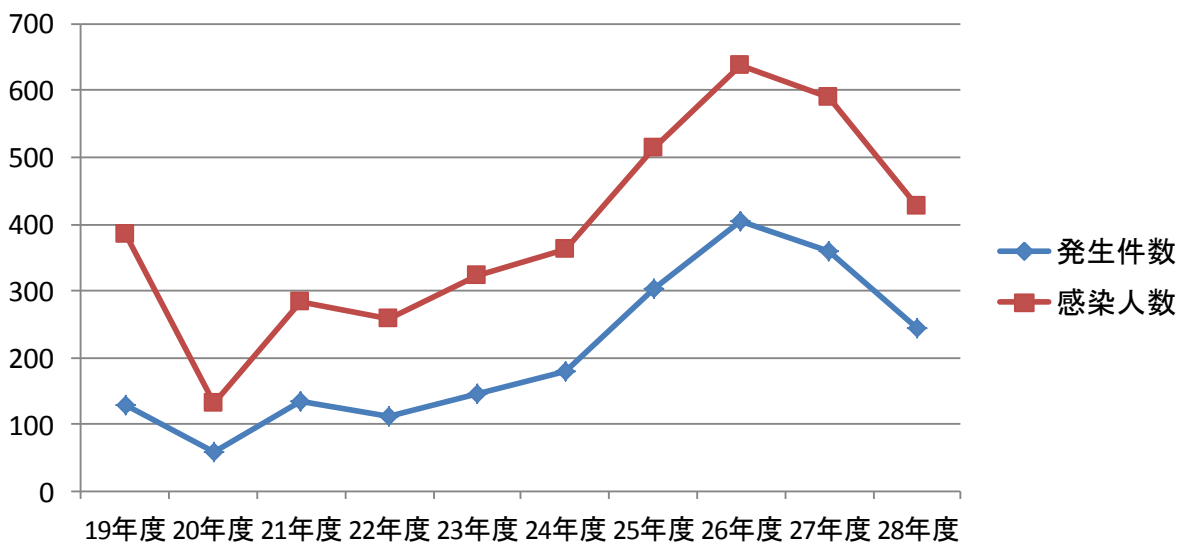


図4 世田谷区におけるアタマジラミ被害発生報告件数推移

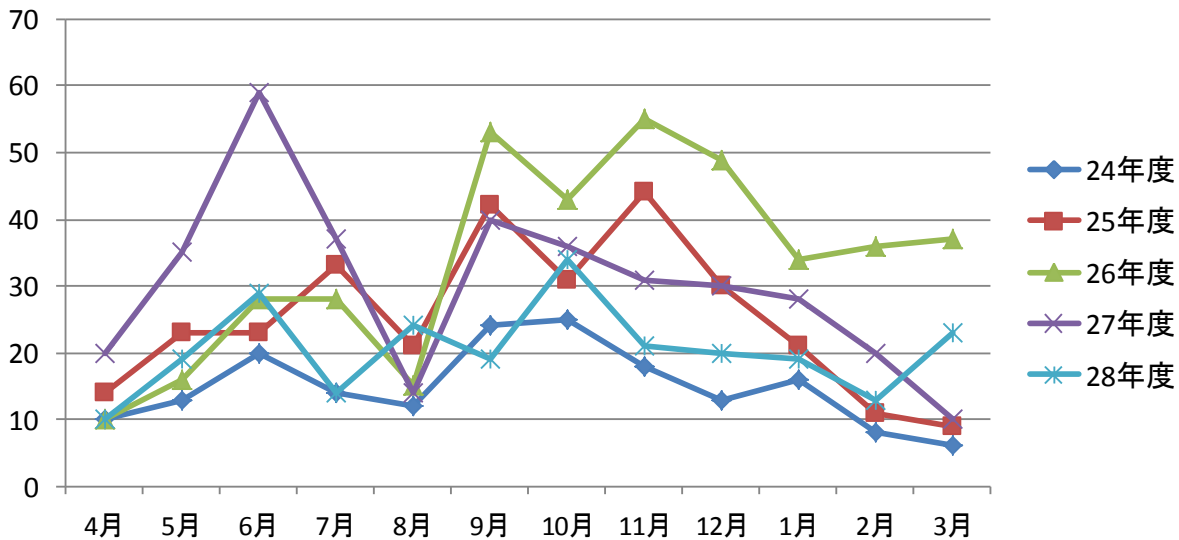
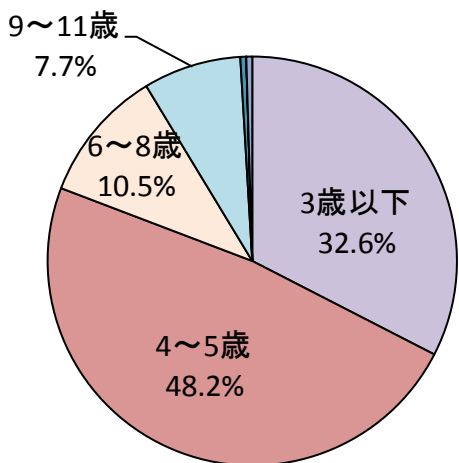


図5 世田谷区におけるアタマジラミ被害発生報告数・年齢別（平成28年度）



年齢	人数(人)	割合(%)
3歳以下	139	32.6
4~5歳	206	48.2
6~8歳	45	10.5
9~11歳	33	7.7
12~14歳	2	0.5
15~17歳	0	0.0
18歳	2	0.5
合計	427	100.0

5. どのようにして感染するのでしょうか？

子どもたちは、からだを寄せ合って遊ぶことが多いので、アタマジラミに感染する可能性が大人より高いといわれています。一般的には、次のような感染ルートが考えられます。

①感染ルート

○共用したり貸し借りすることにより、次の物を介してうつることがあります。

帽子・ヘアカラーゴム・スカーフ・マフラー・クシ・ブラシ・衣類等

○添い寝したり共用したりして、次の物を介してうつることがあります。

寝具類・枕・シーツ・ベッド等

○子ども同士が頭を触れ合って遊ぶことによりうつることがあります。

○集団生活や集団昼寝などで寄り添った時うつることがあります。

○子どもたちがごろごろ横になったりする部屋でうつることがあります。

○バスや電車などのソファを介してうつることがあります。

○髪が触れるほど混雑したバスや電車でうつることがあります。

②プールでの感染はあるのでしょうか？

アタマジラミは、水中では髪の毛にしっかりしがみついています。また、プール使用中はスイムキャップをかぶっているため、プール内では感染しにくいようです。むしろ、更衣室での着替えのときにうつる可能性が考えられます。更衣室のロッカー等の清掃を丁寧におこなってください。

③手で触ったら感染するのでしょうか？

アタマジラミは本来、寄生者の髪から離れようとしません。感染は髪と髪が触れる（重なる）状態やブラシなどの共用物を介して感染することが多く、手で触ったくらいでは感染しません。

なお、アタマジラミはノミのように跳ねたり、ハエのように飛んだりはできません。

Ⅱ 施設ですること

アタマジラミ症の子どもがいたら、できれば全員の子どもの頭髪を観察してください。そして、保護者に対し正しい対処方法について情報提供をおこないましょう。早期に解決するためには、保護者と一体となって対策をとることが必要です。アタマジラミについて知識のない保護者に対して、啓発をおこなってください。

また、差別やいじめが起きないように啓発し、職員間の対応や対処方法の統一を図るため、この資料を参考にミーティングをおこないましょう。

1. 職員が気をつけなければならないこと

①アタマジラミや卵を見つけても、あわてたり大声で話したりしないでください。

子どもや親へ情報が伝わるのは意外と速く、うわさが拡大解釈されて間違った情報が広がる原因となります。対応を取る前に保護者から「アタマジラミ症の子どもを登園・登校させるな」などの要求がきた例や登園・登校拒否なども見られます。差別やいじめにつながることはないよう言葉や態度に十分気をつけてください。

②シラミ症の子どもを知らずに傷つけていることがあります。

過剰な反応は禁物です。頭を見るときに不潔なものを触るようなしぐさや、嫌がるような態度でおこなうと、子どもが傷つきます。子どもの性格によっては心に深く残ってしまうかもしれません。前述したように、アタマジラミは手で触ったくらいでは感染しません。

2. 発生時の対応と処置

①登園・登校について

原則としてアタマジラミ症の子どもの登園・登校を控えさせる必要はありません。保護者に理解を求め、経過観察するのが良いでしょう（学校保健法に規定されている感染症についての取扱いで、「通常出席停止の措置は必要ないと考えられる伝染病の例」の1つに「アタマジラミ」があげられています。）

なお、保護者が率先して休ませたいといった場合は、休ませるのが良いでしょう。ただし、駆除の進み具合などを定期的に連絡しあい早期解決への力になりましょう。何よりも、子どもにとって一番良い方法を保護者とともに考えることが必要です。

すでに、差別やいじめがある場合は、保健所などの協力を得て、保護者への講習会を開くなどして正しい知識の普及に努め、いじめを防止してください。

②運動会等の催し物、事業について

催し物、事業は通常どおりでかまいません。ただし、運動会などで帽子などの借り物競争や相撲など、髪や頭が直接ふれあう、髪に触れるものを共有するのは避けてください。

③帽子、タオル等について

各自専用としてください。専用であっても他のものと重ねておかないで下さい。

④プールの利用について

プール自体での感染はほとんどないので、利用を控えることはありません。ただし、スイムキャップは本人専用のものを必ず使用するようにします。

プール利用で気をつけなければならないことは、着替えなどで使用する共用ロッカーやカゴの対策です。ロッカーやカゴは個別にし、脱いだ衣類やタオルなどは、他の子どものもの

と重ねないようにします。使用前後に清掃し、周辺にも掃除機をかけます。

⑤施設の殺虫消毒について

アタマジラミは人から離れてしまうと長くは生きられませんので、殺虫処理は必要ありません。発生施設では掃除機を使用して、床の清掃を普段よりこまめにおこなってください。

⑥昼寝について

集団発生時には昼寝の取扱いで戸惑いが見られます。アタマジラミ症のこどもの人数にもよりますが、一般的には次のようにします。

- ・他のこども達とスペースをあけて昼寝をさせてください。お互いの寝返りスペースや髪の毛の長さを考慮し、触れ合わないように注意してください。寄生数の多い子にはスペースを十分にとります。
- ・アタマジラミ症の子の寝具類は専用の物を使用します。
- ・昼寝が終わったら室内を掃除機掛けします。
- ・アタマジラミ症の子の使用したシーツにも掃除機をかけます。
- ・アタマジラミ症の子の使用したシーツは、毎日保護者に持ち帰ってもらい、処置してもらいます。(処置方法は、12 ページ 5. 衣類、寝具類の処置 を参照)

ただし、保護者がシーツ交換を毎日することが難しい場合は、頭の部分にバスタオルを敷き毎日交換するか、または、アタマジラミ症の子が使用した布団やシーツの掃除機掛けを充分ていねいに行なうことで補ってください。

なお、アタマジラミ症の子を別の部屋で寝かせるような場合は、保護者への十分な説明と正しい理解を得ることが必要です。子どもへの配慮が、様々な誤解を生じることにもなりますので注意してください。

3. 保護者への対応について

①アタマジラミ症の子どもの保護者への対応

アタマジラミ症の子どもの見つけたら保護者に連絡します。保健所作成のリーフレット等の資料を渡し、説明や助言をする際には次のことを参考にしてください。

○不潔で発生しているのではないこと。

不潔でうつっているのではなく、子どもたちが体を寄せ合って遊ぶことやブラシなどを共用することが多いために、うつりやすいことを説明してください。

○アタマジラミは病気を媒介することはありませんが、掻き崩しなどにより起こる細菌感染に注意すること。

○施設での具体的な対策を説明する。

施設でおこなっている対策が保護者にうまく伝わらないと、「施設側は何もしてくれない」と保護者が一方的に不満に思うことがあります。

○予防や駆除は十分な洗髪が基本であること。

○兄弟姉妹がいる場合は、交互に感染を繰り返さないよう同時に対策すること。

同時に対策しないと、交互に感染を起こし駆除が長引くことがあります。感染を確認していないお子さんについても、ていねいな洗髪をすることにより感染を予防します。ただし、感染を確認しないで予防的に薬剤を使用しないでください。

○クシや帽子、タオルなどを共用しないこと。

②アタマジラミ症でない子どもの保護者への対応

感染していない子どもの保護者へも、施設でアタマジラミが発生していることを周知してください。そして、施設でも対策を講じていることを知らせ、家庭では子どもの頭髪の観察を行い、ブラシ、クシ、タオル等の共用をしないこと、洗髪を子ども任せにしないよう啓発してください。

アタマジラミ症の子どもと遊ばないように、という対応をする保護者もときどき見かけられます。アタマジラミ症の子も言うなれば被害者です。そのような会話を耳にしたら、アタマジラミ症の子を遠ざけることは止めるようお話してください。誰もが知らずにうつる可能性がありますので、子どもの頭髪をこまめに観察し、予防に心がけるようお話ください。

(巻末 保護者向け通知例文参照)

4. 苦情への対応

集団発生時には、寄生のない子どもの保護者からさまざまな要請や苦情が持ち込まれることがあります。時に間違った情報が広がっていると、施設のみでの対応が難しくなります。この場合は、できるだけ早く保護者に正しい知識を普及する必要があります。講習会等を開催することをお勧めします。ご依頼があれば保健所の職員が説明にうかがいます。

苦情の対応例をご紹介しますので参考にしてください。

①「アタマジラミ症の子を登園・登校させないでほしい」

説明 アタマジラミは不潔だからうつるのではありません。園や学校以外でも誰もがうつる可能性があります。アタマジラミ症の子については、保護者への指導と施設が継続して観察や対応をおこなっていますので、登園・登校させながら様子を見させてください。ご家庭では、予防として子ども間でのブラシや衣類などの共用を避け、洗髪を十分おこなってください。スキンシップを兼ねお子さんの頭髪をまめに観察してください。

②「施設の消毒をしてほしい」

説明 アタマジラミの感染は、ほとんどが共用物の使用や髪等が触れ合うなどの行為でうつりますので、施設内に薬剤散布しても効果は期待できません。また、子どもたちへの薬剤の影響も心配されますので、殺虫剤散布はおこなわない方針です。アタマジラミは頭髪から離れると比較的短い時間で死んでしまうそうですが、施設内での再付着を防ぐため、床や昼寝後の部屋を掃除機でこまめに清掃しています。

③「うつした原因の子どもを探してほしい」

説明 不衛生でうつるわけではありませんから、誰もが園や学校以外でもうつる可能性があります。アタマジラミ症の子は全員誰かからうつされたのですから、原因の子を特定することはできません。また、そのような詮索をすることで、子どもを傷つけることにもなりかねません。施設では蔓延防止に努めていますので、ご協力をお願いします。

Ⅲ アタマジラミの見つけ方、駆除方法

1. アタマジラミの見つけ方

アタマジラミの成虫や幼虫は光を嫌い、すばやく髪の毛の間に隠れてしまうので、寄生数が少ない場合は見つけるのが難しいようです。そこで、寄生しているかいないかは、卵の有無で判断します。卵は一見ふけのように見えますが、頭髮にしっかり産み付けられています。アタマジラミの卵と間違いやすいふけの一種はヘアキャストと呼ばれ、指の先でつまんで引っ張ると簡単に動きます。一方、卵は硬い接着物質で毛髪にしっかりついているので、爪でしごかないと取れません。

☆指でつまんで引っ張るとヘアキャストは簡単に動きます。

☆アタマジラミの卵は硬い接着物質で毛髪にしっかりと生みつけられているので、爪でしごかないと取れません。

保健所では、アタマジラミの識別を行なっています。アタマジラミの卵かどうかわからないときなどは、ご相談ください。

○日常的な頭髮の観察

保健所に寄せられる相談や発生報告の動向から、アタマジラミの発生に季節的な変化はなく、日常的に世田谷区のどこかで被害が発生しています（4ページ参照）。いつアタマジラミに感染してもおかしくない状況になっていますので、予防のためにも家庭で月に1回、子どもの頭髮チェックをすることが理想的です。施設でも常にアタマジラミの発生に注意するとともに、保護者への啓発をおこなってください。

2. 駆除の前に

本人がいやがらなければ、髪の毛を短くすることにより洗髪しやすくなるなど、駆除の際に髪を扱いやすくなります。しかし、対策がきちんと取ればよいのであって、嫌がる子の髪を無理やり短くすることはありません。

3. 駆除方法

①専用のクシがなく、寄生数（アタマジラミの卵）が少ない場合

耳の後ろや頭皮を十分にシャンプーした後、丁寧にブラッシングしながら、髪を良くすすぎます。髪をドライヤーで乾かしてから、首周りをできるだけ黒っぽい布で囲み、卵のついた髪の毛を1本1本はさみでカットします。終わったら掃除機で周辺を清掃します。首や肩を囲んだ布の取扱いにも注意してください。

この方法を3日間連続しておこなっても新たに卵を産み付けられるようでしたら、専用グシや薬剤を使用する方法に変えてください。

②専用のすきグシによる駆除方法

全米シラミ症協会が開発したアタマジラミ専用すきグシを使用すると、幼虫や成虫だけでなく卵も取り除くことができます。

耳の後ろや頭皮を十分にシャンプーし洗い流した後、よくブラッシングし、髪がまだ湿っていてもつれていない状態で専用すきグシを使用します。

一旦、頭全体をすいた後、髪の毛を1回2～3cmの幅になるように小分けしながら、専用グシで髪の毛の根元から毛先まですきとります。すきとったら1回ごとに容器に入れた水の中ですすぎます。こまめに光にかざし、クシに卵などがついていないか確認してください。髪を乾かした後、卵が残っていないかどうかチェックしてください。

これを毎日行うことにより、数日間程度で駆除できます。途中で卵が増えたり、1週間以上続けているのに終わらない場合は新たな感染が考えられます。もう1度、クシやタオルの共用などに注意してください。

アタマジラミ駆除専用すきグシ

商品名：**ライスマイスター**（全米シラミ症協会が開発）

輸入業者：株式会社アイデック

墨田区両国4-38-3 第8高島ビル6F

TEL03(5625)4298

③薬剤による駆除方法

アタマジラミ駆除剤には、シャンプータイプとパウダータイプがありますが、シャンプータイプの方が使いやすいです。殺虫成分は人体への使用が認められている、低毒性のフェノトリンです。

頭髪をぬらし、規定量の駆除剤（シャンプータイプ）で、髪の毛の生え際や耳の後ろまで十分いきわたるようにシャンプーします。5分間放置した後、十分すすぎます。

これらを1日1回、3日に1度（2日おき）3～4回繰り返します。薬剤は卵には効きにくいので、孵化してきた幼虫を順番に駆除するために間隔をあけて使用します。10日間経っても駆除し切れない場合は、薬が効かないアタマジラミの可能性がありえます。駆除が完了したかどうか確認するために、抜け殻の卵を全て取り除いてください。

アタマジラミ駆除医薬品

スミスリンL （シャンプータイプ）	大日本除虫菊株式会社
スミスリンパウダー （パウダータイプ）	大日本除虫菊株式会社
シラミといシャンプー （シャンプータイプ）	アース製薬株式会社

購入先：お近くの薬店、薬局で
皮膚科で処方される薬も同じです。

○間違った薬剤の使用例

- ・ 予防のために毎日使用する。
- ・ 薬の使用回数や量が多ければよく効くだろうと思い毎日たくさん使う。
 ➡薬は幼虫や成虫にしか効かず、卵への効果は期待できません。予防的に使用しても意味がありません。必要以上に使いすぎると皮膚炎を起こします。使用量を守りましょう。
- ・ 薬剤でシャンプー後、5分間待たずにすぐ流してしまう。
 ➡薬剤の効果をj得るには虫との接触時間が重要です。時間をきっちり守りましょう。
- ・ パウダータイプの駆除剤をシーツや枕カバーに使う。
 ➡アタマジラミ駆除剤は頭髪専用です。ほかの目的に使用しないでください。

○薬剤の効かないアタマジラミが出てきています。

薬剤を使用しているにもかかわらず駆除できない場合は、薬剤が効いていないことも考えられます。国立感染症研究所が、アタマジラミの殺虫剤（フェノトリン）抵抗性の全国調査を行っています。2006年から2011年に行った調査結果から、日本本土のアタマジラミの殺虫剤抵抗性比率は5.0%、沖縄本島では96%前後と推定されるということが明らかになりました。遺伝子検査により、海外から抵抗性のあるアタマジラミが持ち込まれ、しだいに広がっていることが確認されています。日本では人体に使用できる薬剤がフェノトリンしかなく、薬剤抵抗性のアタマジラミの出現は大きな問題です。今後さらに、薬に強いアタマジラミが生き残っていくことが考えられます。**なるべく薬剤に頼らない方法でアタマジラミを駆除することが大切です。**薬剤抵抗性のアタマジラミの駆除には、アタマジラミ専用すきグシを使用します。

4. 駆除完了の確認方法

産み付けられた卵を抜け殻も含めそのつど取り除き、1週間新たに卵が発見されなければ駆除が完了したと判断しています。

5. 衣類、寝具類の処置

アタマジラミに感染した子どもが使用した衣類や寝具は、アタマジラミがついている可能性があるため、熱処理をしてから洗濯します。熱処理ができないものなどは、掃除機でていねいに吸い取ります。

○対象物（例示）

帽子、マフラー、タオル、クシ、ブラシ、ヘアーカラーゴム、シーツ、枕カバーなど

○熱処理の方法

- ・60℃以上に保ったお湯に5分以上浸す
- ・アイロンをかける
- ・衣類乾燥機にかける
- ・小さなものはヘアドライヤーを使用する

IV 予防方法

①日ごろより子どもの頭髪チェックをおこなう

保護者が子どもとのスキンシップを兼ねて、最低でも月1回定期的にチェックを行うのが望ましいです。

②ていねいに洗髪をおこなう

周囲でアタマジラミの発生がみられたら、子どもの洗髪をていねいに行います。または、子どもが自分でていねいに洗えるようにサポートします。

保護者向け通知 例文

平成 年 月 日

保護者各位

〇〇保育園・幼稚園・小学校長

アタマジラミの感染予防についてのお知らせ

日ごろより保護者の皆様には、子どもたちのより良い生活のために、ご協力いただきありがとうございます。

さて、最近、全区的に保育園や幼稚園、小学校低学年のこどもたちの頭髪にアタマジラミの発生が見られておりますが、当園・当校でも本日アタマジラミの感染が見つかりました。

アタマジラミが不潔の代名詞のように受け取られがちですが、現在のアタマジラミは不潔にしているから発生するものではありません。また、病気の感染の心配もありません。過剰な反応で子どもたちの心を傷つけないようお願いいたします。ただし、アタマジラミの感染に気がつかないでいると、さらに感染を広げてしまうこととなりますので、みんなで対策を取ることが大切です。

小さな子どもたちに感染が多く見られるのは、こどもたちが寄り添って遊んだり、ブラシやタオルなどの共用をすることが多いからです。また、子どもだけではしっかり洗髪ができないからとも言われています。

当園・当校では、アタマジラミの感染予防に十分気をつけ、対策を取っておりますが、各家庭においても以下のように、お子様の頭髪の観察と保護者による洗髪をお願いいたします。

また、お子様の頭髪にアタマジラミの卵と疑われるものが見ついたら、保健所や皮膚科にご相談ください。アタマジラミがいる場合は、当園・当校にお知らせください。

☆頭髪観察等の注意

○アタマジラミの卵は髪付け根部分に産み付けられています。一見、フケに似ていますが、髪にしっかりと付いていることで見分けます。

○家族間や子どもたちの間でクシやブラシ、タオル、帽子などを共用しないようご注意ください。

○子どもが自立して洗髪するところは、洗い方が不十分になりがちです。ていねいな洗髪は予防になりますので、特に耳の後ろや後頭部に注意して、当分の間、毎日、保護者による洗髪をお願いします。

☆アタマジラミ相談窓口

世田谷保健所 生活保健課 環境衛生施設係 TEL 03 (5432) 2904

平成30年6月

世田谷区世田谷保健所 生活保健課 環境衛生施設係

〒154-8504 世田谷区世田谷4-22-35

TEL 03(5432)2904

FAX 03(5432)3054